

熊本県南関町の次世代水道検針を推進！

水道スマートメーター・RPA における水道検針業務の自動化のお知らせ

当社連結子会社の株式会社ウォーターリンクス(本社：兵庫県姫路市、代表取締役社長：原裕二)、は、南関町（南関町長：佐藤安彦）と次世代の水道検針に向けて、水道スマートメーターおよび RPA を活用した実証実験を通じ、水道検針業務の一部自動化を開始していることをお知らせします。

本取り組みでは、同連結子会社の株式会社ウォーターデバイス（本社：兵庫県豊岡市、代表取締役社長：岩本晃幸）が製造する水道スマートメーターを設置し、効果を測定します。

■ 背景と課題

南関町では、これまで集中検針盤を用いた一括検針を実施しており、集中検針盤は老朽化と維持管理コストが増加する課題を抱えていました。そこで水道スマートメーターの導入検討を進めておりましたが、検針データを水道料金システムへ自動連携するという、新たな課題が明らかになりました。これらの課題解決に向け、南関町と株式会社ウォーターリンクスは共同で、先進技術を活用した業務改善に取り組んでいます。

■ 取り組みの概要

1. 連携体制

本取り組みでは、南関町と株式会社ウォーターリンクス、および株式会社ウォーターデバイスの連携体制を構築しています。株式会社ウォーターリンクスでは、水道スマートメーターの提供、クラウドシステム構築、RPA の導入支援を担当しています。

2. スマートメーター（AMR 方式）導入

老朽化した集中検針盤を撤去し、各戸に無線通信機能付きのスマートメーターを導入しました。

これにより、LPWA による遠隔検針を可能としています。

※AMR（Automated Meter Reading）方式：水道メーターに搭載された無線子機により、正確でスムーズな一括無線検針を可能にします。検針方式としてウォーク・バイ方式とドライブ・バイ方式があります。

※LPWA（Low Power Wide Area）：低消費電力・広域通信を特徴とする無線通信技術。

スマートメーター等のIoT機器に適しています。

3. RPAによる料金システム連携の自動化

検針データはクラウドを通じて自動で集められ、RPAによって水道料金システムにそのまま入力・処理されるようになりました。

これまで職員が手作業で行う必要があったデータ入力作業が大幅に効率化され、ミスが減り、作業時間も短縮されます。

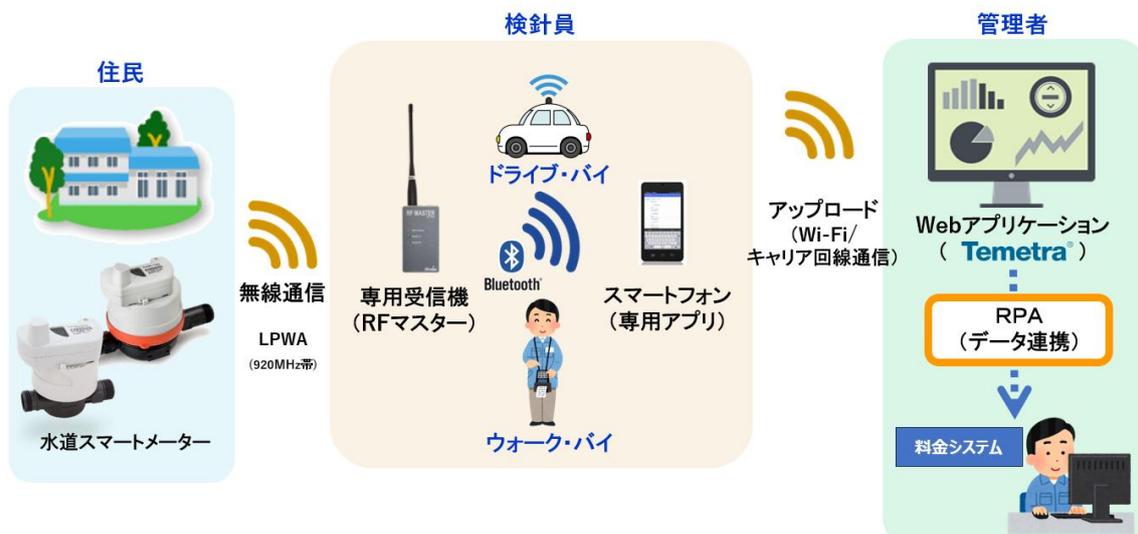
■ 期待される効果

本取り組みにより、水道検針業務の省力化とコスト削減、検針データの即時取得、料金請求の迅速化が期待されます。また、従来は対応が難しかった検針困難区域にも対応できるようになり、さらに、職員の業務負担が軽減されることで、働き方改革の推進にもつながると考えています。将来的には、地域間のサービスの均一化、蓄積されたデータを活用による高度な住民サービスの提供も見込まれています。

■ 本取り組み対象・期間

- 対象戸数：80戸（集合住宅2棟）
- 実証期間：2025年4月1日～2026年3月31日

■ 検針システム イメージ図



【会社概要】

■販売元

名称 : 株式会社ウォーターリンクス
代表者 : 代表取締役社長 原 裕二
所在地 : 〒670-0944 兵庫県姫路市阿保甲 878 番地
会社設立日 : 2019 年 9 月 10 日
資本金 : 145,000,000 円
URL : <https://waterlinks-japan.com/>

■製造元

名称 : 株式会社ウォーターデバイス
代表者 : 代表取締役社長 岩本 晃幸
所在地 : 〒668-0055 兵庫県豊岡市昭和町 4 番 24 号
会社設立日 : 2022 年 9 月 9 日
資本金 : 20,000,000 円
URL : <https://www.waterdevices.co.jp/>

・本リリースに関するお問い合わせ

株式会社ウォーターリンクス

〒670-0944 兵庫県姫路市阿保甲 878 番地

HP : <https://waterlinks-japan.com/>

お問い合わせ先

広報担当チーム : info@waterlinks.co.jp